

審議事項：困難を抱える若者から意見を聴くための仕組みについて

様々な若者の声を拾う場所

- ・ 聴くテーマによって、出向く場所を変えていくとよいのでは。
- ・ 課題に応じて、様々な支援団体が運営する場所にヒアリングしてほしい。
- ・ 京都市の若者支援総合センターのように、トラックでパンを配りながら、**移動型で様々な場所に行って意見を聴く**という方法もあるかもしれない。
- ・ 都心や多摩など、場所の設定方法に**地域的な観点**もあるだろう。
- ・ **相談窓口でどうやって若者の声を聴くか**というのも、一つ観点として入れられるといい。
- ・ **支援団体がそれぞれ協力・繋がり合えるプラットフォーム**（フォーラム型組織）をつくり、そこで協力をお願いするのはどうか。

声の聴き方

- ・ 「意見を集めるために若者を集める」よりも「**若者が集まっているところに自分たちが出向く**」ことが重要。
- ・ 若者と信頼関係ができて**支援団体と連携しながら**進めていく。
- ・ **都の職員もヒアリングの場に同席**することで、「こういう人たちに声を届けばいいんだ」という意味になる。
- ・ ネットワーク会議など、何らかの形で**意見の聴き方をブラッシュアップ**していく考え方も必要。
- ・ できるだけ**仕事感を出さず**に来て欲しい。スーツは着ずに私服で。
- ・ 例えば、その日ごとに聴くテーマを決めて居場所を開放し、当事者から雑談を通じて不満や悩みを伺う。その上で、改善方法や行政に求めることを聴くなど、**身近な部分から聴いていく流れ**が重要。

若者部会における審議経過（第2回までの各委員の主な意見）

オンライン上で広く聴く

- ・匿名であることが重要だと思うが、SNS等で若者を集めた場合、**本当に困っている都内の若者なのかどうか**担保できない。そうした意見を施策に反映していいのか疑問。
- ・困難な若者の声を聴く際、**広くというアプローチをとることが果たして良いのか**、今一度考えたほうがいい。もっと**狭く深く拾う方法もあるのではないか**。
- ・**訪問型をもっと厚みを持たせるというやり方もあるかもしれない**。深い構造が理解できないと、そこから施策反映していくということが表層的になってしまう可能性もある。

ユーチューバーの活用

- ・オンライン上のユーチューバー界隈には、**様々なところに若者が生息している**と思うが、それがどこなのか、**中々見当がつかない**。
- ・ユーチューバーは、**視聴者層もかなり偏りがある**と考えられ、ベストなのかは疑問。
- ・YouTubeの活用という選択肢は、**考慮から外した方がよい**か。

若者の声を聴くための支援団体について

- ・**課題や困難性、困りごとの種別によって、しっかり網羅していくことが必要**。この課題はどこの団体があるのか、リサーチや紹介で網羅していく。そこに対してスーパーバイズがあればよい。
- ・**スーパーバイズは、就労支援やヤングケアラー、若年女性、生活困窮など、大きいカテゴリーが若者支援分野にあるため、そのカテゴリーで代表する団体にメンバーとして入ってもらえれば、担保できる**。
- ・**全体の方針をスーパーバイズする専門団体は確実に必要**。

若者部会における審議経過（第2回までの各委員の主な意見）

声を聴くためのスキル

- ・ 行政側の価値観等を出さず、主義主張もあまり出さず、本当にただ話を聴ける人というのが結構大事になる。支援者だと大体そのような資質があるのではないかと思うので、何かしらそういう支援に長けたような人、ある程度きちんと意見を拾えるようなスキルがある人が聴くべき。
- ・ 何年間か、そのような若者に関わった経験が重要。その上で、スキルを身につけてから現場に行ってもらうような研修があったほうがいい。

広報

- ・ 若者が、広告などで都のこうした取組を知る機会が多い方が良い。

契約

- ・ 進行管理のみコンサルが担い、意見聴取の部分は複数の支援団体が行う。または、これをパッケージにしてもよい。
- ・ 若者が審査員側にいる、ということもあり得るのでは。

意見聴取の対価

- ・ 支援団体に対してお金を出し、その代わり声を拾いにくい若者たちから声を聴けるような座組を支援団体がつくることや、例えば、団体の予算の中で、協力した若者にピザを用意するなどの工夫があってもいい。
- ・ 実費弁償はあってしかるべきと思うが、民主主義の担い手を育成するという考え方に則ったとき、変に対価が発生してしまうことに違和感もある。

その他

- ・ 若者支援施策の数が足りていない。今の施策に穴が多いという点を考えると、意見を聴き、どこに穴があるのか特定することに意義がある。
- ・ 実際に「自分の意見がどう反映されたのか」というフィードバックをいかに充実させるかが重要。